★　連続送信ガイドシステムの設定　★

①　連続送信ガイドシステムとして使う設定（ガイドは１ 名）

３分のタイムアウト制限を解除して、絶えずガイドさんの声を送信しておきたい場合は 、DJ-R100L、DJ-R200DL、又は DJ-P25 を以下の設定にする必要があります。法の規制によりローパワー（１mW）でしか送信できずカバーエリアがかなり狭くなるため、ロングアンテナタイプをお選びください。この設定ではトランシーバーの PTT ホールド機能（送信ボタンを常に押していなくても良くなります）か、ＰＴＴロックの掛かるイヤホンマイクをお使いください。受信に使う子機は DJ-RX2/RX3/RX31 シリーズ他、中継器対応機種（b12-b29 チャンネルに設定ができる機種）で送信禁止ができるものなら、特定小電力トランシーバーでも代用できます。

【設定方法】（いずれも完全リセット後に以下の設定を行って下さい。）

・DJ-R100DL/200DL による連続送信

①「モード 2」に設定
②　b チャンネルで使用するチャンネルを一つ選ぶ。（b　12〜29）
③　R200DL はこの項目の操作不要は不要（自動でローパワー、強制モードになる）。R100DL はファンクションキーを押した後、フックサーチキーを長押しして「強制同時モード」に切替る。セットモードでローパワーに設定。
④　マイクの種類、必要に応じてセットモードで PTT ホールド機能を設定。（R200DL は自動的に設定される。）マイク側で PTT キーロックできる機種はそれを使うのも可。
⑤　受信機のチャンネルを上記②と同じに設定。
グループ設定は設定しないでください。コンパンダー機能は全数が対応していれば ON にすると、より快適に聞きやすくなります。コンパンダー機能が対応しない R100DL や RX2 のような機種を 1 台でも使用するときは、コンパンダー設定は全数 OFF にしてください。使うと逆に音が悪くなります。

・DJ-P25 による連続送信

①　b チャンネルから使用するチャンネルを一つ選ぶ。（b　12〜29）
②　セットモード で「ローパワー」を設定。
③　マイクの種類、必要に応じてセットモードで PTT ホールド機能を設定。マイク側で PTT キーロックできる機種はそれを使うのも可。
④　受信機のチャンネルを上記①と同じに設定
グループ設定は設定しないでください。コンパンダー機能は全数が対応していれば ON にすると、より快適に聞きやすくなります。コンパンダー機能が対応しない R100DL や

RX2 のような機種を 1 台でも使用するときは、コンパンダー設定は全数 OFF にしてください。使うと逆に音が悪くなります。

マイクはトランシーバー内蔵のものが使えますが、外部マイクもオプション設定があります。イヤホンマイクの場合はイヤホンが取り外せてマイクだけ使うことができる EME-21A,21AB,29A や EME-32A,48A などの業務仕様をお勧めします。対応する品番は弊社 HP や特小無線総合カタログでご確認ください。また R200DL のようにコールバック機能が対応している機種では、イヤホンで自分の声がモニターできるので、正しく送信されていることを確認しながらガイドすることもできます。

② 同時通話の連続送信ガイドシステムとして使う設定（ガイドは 2 名）

DJ-R100DL、DJ-R200DL と DJ-P25 では、以下の設定により連続送信ガイドシステム設定のトランシーバー 2 台の同時通話（ガイド 2 名間の通話）を受信機で聞けます。

☆制約及び注意事項

① 同時通話は 2 つの電波を使用します。先に送信したガイド機の電波がメインになるので声が大きく、後から送信したガイド機の声は小さくなります。

② 同時通話中に先に送信を開始したガイド機が送信を停止すると、ビジターの受信機はどちらの声も聞こえなくなります。

【設定方法】（いずれも完全リセット後に以下の設定を行って下さい。）

・DJ-R100D/R200DL による同時通話連続送信

①「モード 2」に設定。

② b チャンネルから使用するチャンネルを一つ選ぶ。（b 12～29）

③ R200DL はこの項目の操作不要（自動でローパワー、強制モードになる)。R100DL はファンクションキー（1 回）→フックサーチキー（長押し）で「強制同時モード」に切替え。セットモードでローパワーに設定。

④ セットモードで「ループ機能」を設定。マイクの種類、必要に応じてセットモードで PTT ホールド機能」を設定。（R200DL は自動設定）

⑤ 受信機のチャンネルを上記②と同じに設定（グループ設定は使用しません。コンパンダー対応機の場合、コンパンダー設定は OFF にしてください。）

・DJ-P25 による同時通話連続送信

① b チャンネルから使用するチャンネルを一つ選ぶ。（b 12～29）

②セットモードより「ローパワー」を設定。

③マイクの種類、必要に応じてセットモードで「PTT ホールド機能」を設定。
⑤ 受信機のチャンネルを上記①と同じに設定（グループ設定は使用しません、コンパンダー対応機の場合、コンパンダー設定を ON にして使用すると明瞭度が上がります。）

両ガイド機とも、必ず別売の外部マイクかイヤホンマイクをお使いください。使わないとハウリングが起きます。同時通話連続送信時、コールバック機能は使わないでください。音が小さくなります。対応するマイクの品番は弊社 HP やカタログでご確認ください。

【参考：グループ設定について】
本文中、「グループ設定は使わないでください」と記述していますが、設定をすれば使うことができます。ガイドではグループ機能の重要性が低いので敢えてご説明しておりませんでした。特別な理由があって、どうしても同機能を使う必要があるときは、下記をご参照ください。

① 中継通話と同時通話では、使用するグループ番号がマイク側と受信機側で異なります。そのため交互通話の様に番号を全て同じに設定すると受信できません。ここでは以下のように設定してください。

モード 2 で使うマイク側のグループ番号	受信機（中継モード）のグループ番号
26	01
27	02
・	・
・	・
・	・
49	24
50	25
01	26
02	27
・	・
・	・
・	・
24	49
25	50

② 送信側（ガイド側）のグループ設定は機種によって「ON/OFF 可能」と「ON 固定」に分かれます。DJ-R200D、DJ-P25 でグループ機能を使わずに受信する場合は、受信機側のグループだけを OFF にしてください。

DJ-R100D：グループ ON/OFF 設定可能
DJ-R200D：グループ ON 固定
DJ-P25　　：グループ ON 固定

以上

アルインコ（株）電子事業部